



2026年3月19日

各位

会社名 伊澤タオル株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊澤 正司
(コード番号：365A 東証スタンダード市場)
問合わせ先 取締役 CFO 兼管理本部長 三好 拓人
TEL. 06-6690-1338

通期業績予想および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年3月19日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年6月20日に公表した2026年2月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

2026年2月期通期業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,884	900	849	499	49円92銭
今回修正予想 (B)	10,300	571	1,144	668	66円81銭
増減額 (B-A)	△584	△329	294	168	—
増減率 (%)	△5.4	△36.6	34.6	33.7	—
(参考) 前期実績 (2025年2月期)	9,825	638	980	579	57円85銭

(参考)

	のれん償却前 当期純利益	1株当たり のれん償却前 当期純利益
前回発表予想 (A)	701	70円07銭
今回修正予想 (B)	869	86円98銭
増減額 (B-A)	168	—
増減率 (%)	24.0	—
(参考) 前期実績 (2025年2月期)	780	78円01銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、特定の取引先において在庫調整が実施された影響により、当初想定していた出荷数量を下回る結果となりました。加えて、ECチャネルの販売が概ね堅調に推移した一方で、セールスマックスの変化に伴い、リポートの計上が当初の想定を上回り、売上高から控除されたことも前回発表予想を下回る要因となりました。また、インドの協力工場において、米国の関税政策発動による一時的な他社向け駆け込み生産の影響を受け、当社製品の生産および納品に一時的な遅延が発生したことも売上高を押し下げました。

営業利益につきましては、上述の売上高の減少要因に加え、急激な円安進行に伴う仕入原価の上昇が利益を圧迫いたしました。加えて、欧米市場における特許出願費用やマーケティング投資、さらには物流効率の変動に伴う物流関連費用の増加が重なったことにより、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

一方、経常利益および当期純利益につきましては、営業利益の下振れ要因はあるものの、期末にかけての円安進行に伴い多額の為替差益（営業外収益）が発生したこと等により、前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。

なお、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年6月20日)	円 銭 —	円 銭 35.04	円 銭 35.04
今回修正予想	—	40.00 (普通配当 39.00) (記念配当 1.00)	40.00 (普通配当 39.00) (記念配当 1.00)
当期実績	0.00		
前期実績 (2025年2月期)	0.00	39.00	39.00

(2) 修正の理由

当社は、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識しており、のれん償却前当期純利益に対する配当性向 50%を目安としています。なお、為替変動等の外部要因による利益変動を考慮しつつも、安定的な配当の実施を目指しております。

当期の業績につきましては、営業外収益における為替差益等の計上により、当期純利益が前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。つきましては、当該業績動向および配当方針に基づき、普通配当を前回予想から増額して前期実績と同額の 39 円とするとともに、2025 年 6 月 20 日の東証スタンダード市場への新規上場を記念し、株主の皆様のご支援に感謝の意を表すため、1 株当たり 1 円の上場記念配当を実施することといたしました。

以上の結果、1 株当たり年間配当金は前回予想から 4 円 96 銭増額の 40 円となり、前期実績 (39 円) に対しても増配となる予定です。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上